

# ～ヨーロッパ最新情報～

## 日本時間の10月11日午前0時より、日本政府による水際対策がさらに緩和されます！

全ての国からの帰国者・入国者は、新型コロナウイルスへの感染が疑われる症状がある場合を除き、入国時検査が不要となります。また、入国後の自宅又は宿泊施設での待機、待機期間中のフォローアップ、公共交通機関不使用等の制限もなくなります。ただし、引き続き全ての帰国者・入国者は、ワクチンの接種証明書(3回)又は出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明書のいずれかの提出を求められます。 ※これにより「赤」「黄」「青」で3つに区分した水際措置は廃止となります。 ※世界保健機関(WHO)の緊急使用リストに掲載されているワクチンがすべて認められることになりました。

合わせて以下の見直しが行われます。・外国人の新規入国について、入国者健康確認システム(ERFS)における申請を求めない。

- ・外国人観光客の入国について、パッケージツアーに限定する措置を解除。
- ・査証免除措置の適用を再開。
- ・現在1日50,000人目途としている入国者総数の上限は設けない。



ヨーロッパでは全ての国で日本からの入国規制が撤廃され、完全開国されています。ただしスペインのみ引き続きワクチン証明書・陰性証明書・回復証明書のいずれかを所持する必要があります。

なお、現地にて感染の疑いがある場合、陽性と診断された場合、及び濃厚接触者の定義は右記をご参照ください。 [新型コロナウイルス感染症 現地対応マニュアル 2022年10月版](#)

情報提供: ミキ・ツーリスト

# AUSTRIA (オーストリア)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

段々と秋の陽気になってきています。先月と同様にウィーン州以外ではコロナの規制はないので、ほぼコロナ前の状況に戻っています。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>入国に対する規制・規制は撤廃され、陰性証明などの提示も不要となりました。   |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> Grüner Pass(Green Pass)というアプリに接種証明、陰性証明等の情報(SMSやEメール等で届くQRコード)を読み込ませます。アプリがなくても、接種証明書等を飲食店等でそのまま提示しても問題ありません。病院・介護施設で3G証明書提示を義務付ける以外は全て撤廃されました。                              |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> マスク着用義務は停止しています。※病院・老人ホームなどの医療施設での着用義務は継続。ウィーン州のみ、公共交通機関・薬局での着用義務の継続   |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[8月31日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>契約検査機関により、検査結果は2時間から24時間以内に送付されます。第三者に結果を送信する場合、委任状が必要です(みゆのPCR検査の商品は、MIKIに結果を送ってもらってから、チェック後お客様にお送りしています)。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、6か月未満の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※他のシェンゲン協定加盟国を経由する場合は、当該国の規定を確認すること。   |



バーデン近郊ゾオース  
ワインウォーキングイベント

# BELGIUM (ベルギー)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

9月18日はブリュッセルのカーフリーデーでした。決められた車両以外は通行が禁止され、その代わりに公共交通機関が無料となります。多くの市民が自転車などで移動するため、見慣れた景色もどこか違って、各々がのんびりと散策を楽しむ光景が見られました。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>EU外からの必要不可欠ではない渡航の禁止は、解除されています。また1日目及び7日目の検査義務、10日間の検疫、渡航者位置特定フォーム(PLF)、ワクチン接種証明、回復証明または有効期限内の検査結果の提示義務もなくなりました。  |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> 5月23日からバロメーターによる規制が休止しており、必要ありません。  |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> マスク着用義務は、病院、医務室（医師のいる場所）及び薬局を除き、あらゆる場所においてなくなりました。公共交通機関におけるマスク着用は義務ではありません。しかし、非常に多く人が行き交う場所または老人ホーム、歯科、理学療法所、心理療法所、言語療法所などのケアを行う環境においては、マスク着用が推奨されています。           |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：基本は現地払い（現金）、検査結果：検査場受け取り<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>日本語で対応してくれ、グループの受け入れ可能な検査機関がありますが、支払いが現地払いのみとなります。立替払いを希望する場合、アシスタントを手配して、支払を委託することになります。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。   |

# CZECH (チェコ)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

9月に入り観光客数も多少少なくなったように見えますが、それでも大都市の週末はどこも国内外からの観光客で賑わっています。また今月は各地でワイン祭りなどが行われており、どの祭りも大盛況の様でした。感染者数は9月に入ってから徐々に増えつつありますが、それでも街行く人は殆どマスクをしておらず、コロナ前の状況とほとんど変わりありません。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月29日時点] 完全開国</b><br>チェコに入国する全ての人の検疫等に関する制限は解除されています。すべての渡航者は、渡航前に入国フォームを記入する必要もなく、PCRテストの結果や新型コロナワクチンの接種証明書を携帯する必要もなくなりました。ただし日本からチェコへの直行便が無いため、経由する国や利用する航空会社が要求する場合には、それらの書類が必要となります。                            |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月29日時点]</b> 国内でDCCを提示するような機会はほぼなく、実質的には国外への旅行の際にのみ、行き先によってワクチン接種を証明する必要があるときにのみ利用されています。   |
| マスク着用義務                | <b>[9月29日時点]</b> 国としてマスク着用の義務を規定していないが、病院や老人ホーム、社会福祉施設では入館時や患者と会う際のレスピレーターを着用を独自で規定するところも出ています。また保健省も公共交通機関に乗車する際はレスピレーターによって口と鼻を覆うように強く推奨しています。  |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月29日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>PCR検査の需要が減ってきており、検査機関の減少、対応の変更が予想されます。ご注意ください。空港の検査場は日本指定フォームに対応していますが、支払いは現地払い・予約不可です。検査結果が出るのは採取から3~48時間が一般的。ただし、PCR検査の需要が減少しており、今後も検査場の閉鎖が懸念されます。また多くの検査場は日曜・祝日休みです。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意する。  |



季節限定 発酵途中のワイン「ブルチャーク」、プラハ城王宮庭園のワイン祭りにて

# DENMARK (デンマーク)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

1月からコロナで延期されていた、女王マルグレーテ2世の即位50年を記念する式典と昼食会が、9月11日に首都コペンハーゲンで開催されました。当初の予定では、大規模なイベントを開催して市民数万人が参加すると予想されていましたが、エリザベス女王に哀悼の意と敬意を表して、式典の規模を大幅に縮小するよう女王が命じたとのことで、粛々と執り行われました。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>デンマーク入国に関する制限・規制は全撤廃となりました。   |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> 規制は全て解除となっており、国内ではDCCの取得は不要となります。   |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> 規制は全て解除となっておりますが、病院やケア施設への訪問時には引き続きマスク着用が求められることがあります。  |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月30日時点]</b> 手配可能：可、立て替え：可、検査結果：検査場受取り<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>コペンハーゲンの空港内検査場は日本帰国用のフォーマットに対応しています。他都市でも日本帰国用フォーマットに対応していますが、申込・手続きが全てデジタル化されており、お客様自身がログインして個人情報を記入、検査当日のチェックイン、デジタル上での検査結果の確認が必要です。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。   |

# FINLAND (フィンランド)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

コロナ以前の生活に戻っています。ロシアで部分的な動員令が出てから陸路での入国者が殺到し、9月30日よりロシアからは観光ビザでの入国制限を始めました。市民の一般生活への影響はありませんが、ニュースでは大きく取り上げられています。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>フィンランドの入国規制は全廃されました。   |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> ワクチン接種から約5日以降にオンラインにて「EU COVID-19 certificate」取得可能。イベントでは、主催者が自主的にコロナパスの確認を行っていましたが、現在は規制解除しており国内では不要です。   |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> マスク着用推奨も解除となり、フィンエアー機内でのマスク着用義務も解除となっています。(但し、渡航先・出発国の当局が要求する場合はマスク着用が必要になる場合もあり)  |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[8月1日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メールにて受取り<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>ヘルシンキ市内・空港のプライベートクリニックで有料PCR検査を実施していますが、日本帰国用のフォーマットへの記入に関しては、(同系列であっても)それぞれのクリニックにより取扱いが異なる為、申込時、検査時にしっかりと確認が必要です。なお現時点では、基本各クリニックの予約時に支払いが必要となります。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。  |

# FRANCE（フランス）



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

バカンスが終わり、観光地はようやくピークを過ぎました。今年の夏は、各地コロナ前以上の賑わいだったようです。定期的に空港ストライキが行われていることから、航空会社の人手不足が顕著に表れています。また深刻なドライバー不足に加えて、エネルギー類の高騰によりガソリン代も上がっており、コーチ不足も懸念事項になっています。コロナ前と一切変わらない生活が戻り、屋内外問わずマスク着用者はほとんどいません。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月23日時点] 完全開国</b><br>新型コロナウイルスに対する特例措置は7/31をもって終了しました。これにより、ワクチン接種証明書や陰性証明書、dPLF (Digital Passenger Locator Form) が不要になり、通常通りパスポートと航空券のみで入国が可能となりました。 |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月23日時点]</b> 医療機関を含むすべての場所での衛生パス(passe sanitaire)の提示は不要となりました。  |
| マスク着用義務                | <b>[9月23日時点]</b> マスク着用が必須な場所はありません。   |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月23日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：検査場受け取り<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>日曜・祝日は多くのラボが休みのため、手配不可となります。   |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞りの条件にも注意すること。  |

# GERMANY (ドイツ)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

ノイシュバンシュタイン城の予約が再開されましたが、改築工事は継続していることもあり、1オペレーターあたり1日最大35名までしか予約ができない状態です。ご注意ください。また2023年になると改築工事の詳細が発表され、一部ガイドツアーでもアクセスできない部屋が発生することが予想されています。ベルリンマラソンも予定通りに開催となり、コロナ前の普通の生活に戻ってきています。

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>日本からの入国情報</p>              | <p><b>[9月30日時点] 完全開国</b><br/>6月11日から、入国理由を証明する資料が提示不要となり観光や知人訪問も可能となりました。加えて、日本を含む第三国からのドイツ入国に際して各種証明書（ワクチン接種証明書、陰性証明書、快復証明書）提示義務も撤廃されています（6月10日以前は、EU圏内の居住者等に限定されていましたがこの限定が解除されました）。</p> |
| <p>DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況</p> | <p><b>[9月30日時点]</b> ワクチン接種証明書"CovPass"が運用されており、接種時ワクチン手帳 (Impfpass/Impfbuch)に必要情報が記載されます。手帳の提示により出入国やショッピング・飲食店利用時に証明書提示が免除となります。ドイツではそれに加え、デジタル証明の運用が開始され、専用アプリを介して取得が可能です。※発行は任意</p>     |
| <p>マスク着用義務</p>                | <p><b>[9月30日時点]</b> 一般の公共交通機関では不要となりましたが、長距離公共交通機関、医療機関や介護施設など特定の場所でのみ、医療マスク（FFP2マスク）の着用義務が継続中です。違反すると最低50ユーロの反則金が課されます。※感染状況に応じて、各州政府が追加的感染予防措置を導入できる旨規定しており、今後各州で規制が定められる可能性があります。</p>   |
| <p>日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項</p> | <p><b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br/>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。グループ予約に対応している検査施設は、少ない状況です。</p>  |
| <p>日本国籍の査証について</p>            | <p>日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br/>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意する。</p>   |



# GREECE (ギリシャ)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

中心部はどこも海外からの観光客で賑わっています。アクロポリスなどの人気観光地は暑い中でも行列ができ、レストランも予約無しで入るとサーブに時間がかかる状況です。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 日本からの入国情報              | <b>[10月4日時点] 完全開国</b><br>5月1日以降、ギリシャ国内線・国際線における COVID-19 関連の制限措置が解除されています。これに伴い、新型コロナウイルス関係の証明書（ワクチン接種証明書、治癒証明書及び陰性結果証明書）の提示は不要となっています。  |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[10月4日時点]</b> ギリシャもDCCの運用が開始していますが、EU以外の第三国からの外国人は書面での提示でよいとされています。なお、レストラン（屋内）や博物館（屋内）入場時の提示義務は解除されました。（※ただし、一部例外（官民の非免疫者の従業員、緊急救命除く医療機関での付添人等）で、証明書の提示が求められる場合があります。）   |
| マスク着用義務                | <b>[10月4日時点]</b> 10月17日まで以下の措置が延長されています。 <ul style="list-style-type: none"><li>●鉄道、市内バス、トラム、タクシー、フェリー（デッキを除く）、地下鉄など</li><li>・交通機関内（駅内等含む）ではマスク着用義務</li><li>・二重マスク（サージカル及び布製）または高規格マスク（FFP2、N95）の着用義務</li><li>●遺跡、博物館、飲食店での着用義務はないが、施設側の判断によって、感染対策が講じられる場合がある。</li></ul> |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[10月4日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>12時間で結果が出る場合もありますが、結果判明までは24時間を見ておいてください。また英語が通じる病院も多いですが、念のためアシスタントを手配することをお勧めしています。他国と同様にPCR検査の需要が減ってきており、今後検査機関の減少が予想されます。ご注意ください。  |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。   |

# HUNGARY (ハンガリー)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

中国系や韓国人と見られる観光客は、街中でもちらほら見られるようになってきています。先日は、コーチで登れなくなっているゲレルトの丘にて、景色が見えるところに韓国人団体観光客がガイド付きで登って来ていました。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月28日時点] 完全開国</b><br>入国規制が撤廃されています。入国時のPCR検査やワクチン接種証明書などの提出も不要です。  |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月28日時点]</b> 規制が撤廃されたため、ワクチン証明などを見せる必要がなくなりました。  |
| マスク着用義務                | <b>[9月28日時点]</b> マスク着用義務は撤廃されています。   |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月28日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>検査結果が出るまでに12～24時間見てください。また今後PCR検査機関の減少が予想されます。ご注意ください。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。                     |

# ITALY (イタリア)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

1日当たりの新規感染者数は2,000人前後と落ち着いている状態です。街中ではマスクを着用している方もあまり見かけなくなりました。FIT、シリーズ、団体とそれぞれツアーも増えてきており、日本からの観光客も街中で見かけるようになりました。最後の晚餐、バチカン美術館、コロッセオなどの予約は引き続き取りにくい状況が続いています。

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>日本からの入国情報</p>              | <p><b>[9月22日時点] 完全開国</b><br/>                 現在イタリア入国時のCOVID-19グリーン証明書（ワクチン接種証明、治癒証明、陰性証明のいずれか一つ）又は同等の証明書提示は不要となっています（※日本から入国する場合も、ワクチン接種証明やPCR検査、抗原検査の陰性結果を提示することは不要です）。</p>   |
| <p>DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況</p> | <p><b>[9月22日時点]</b> グリーンパスの提示は殆どの場所で不要となりました。（老人ホームや病院では2022年12月31日までグリーンパスの提示が求められます。）</p>  |
| <p>マスク着用義務</p>                | <p><b>[10月1日時点]</b> 劇場、映画館、イベントに加えて、新たに交通機関利用時のマスク着用義務も解除されました。ただし、次の場合では義務付けられています。●医療施設、介護施設、ホスピス等の従事者、利用者、訪問者にはマスク着用が義務付けられる。※6歳未満の子供。マスク着用に適さない疾患や障害を持つ者。また、障害者と意思疎通をする上でマスクの着用が不適當な者はマスク着用の義務はない。</p>   |
| <p>日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項</p> | <p><b>[9月22日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br/>                 需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br/>                 イタリア主要都市（ミラノ、ヴェニス、フィレンツェ、ローマ）にてクリニックと契約しています。検査可能な日時はクリニックにより異なりますが、いずれも日曜・祭日の検査は不可となります（土曜は時間が限られています）。検査結果は通常48時間で入手できますが、追加料金を払うことにより、当日受け取りが可能な場合もあります。最近では需要減少のため、PCR検査を行う検査機関が減少、または検査時間の短縮を行い始めています。</p> |
| <p>日本国籍の査証について</p>            | <p>日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br/>                 ※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。</p>  |

# IRELAND (アイルランド)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

現在行われている「UEFAネーションズリーグ 2022-2023」ですが、アイルランドは24、27日に試合が行われました。27日は母国ダブリンのAVIVAスタジアムにて行われ、各地で応援する姿が見られました。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>入国に関わる制限は全て撤廃されています。到着時のワクチン接種証明、回復証明、PCRテスト陰性結果の提示、及び旅客所在確認フォーム(Passenger Locator Form)の記入が、全て不要となっています。       |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> 国内における屋内のホスピタリティ・娯楽施設に関する規制は全て解除され、これらの施設に入場する際の、ワクチン接種証明書も不要となっています。   |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> マスク着用の法的義務は解除されています。ただし公共交通機関や医療機関などでは、マスク着用が引き続き推奨されています。  |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：ラボのリンクに入って、ご自身で確認を行って頂きます。各国の規制解除によりPCR検査の需要が減ってきており、今後検査機関の減少が予想されます。それに伴って手配情報も変わる場合があります。ご注意ください。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、滞在期間、目的にかかわらず査証不要。   |

# NETHERLAND (オランダ)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

まだサマータイムですが、日が短くなってきており、朝晩は上着無しでは寒く感じるようになりました。ガスと電気代の高騰で、政府は料金の上限を設けるとして話題になっています。空港は相変わらずスタッフ不足のため、空港の混雑はしばらく続くと予想されています。コロナはもうほとんど話題になっていません。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>オランダ政府は、9月17日をもって、EU/シェンゲン域内からの渡航者に加え、EU/シェンゲン域外からの渡航者に対する、新型コロナウイルスに関するオランダへの入国制限を撤廃する旨、公表しました。これによって、通常通りの入国が可能となりました。       |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> コロナ・エントリー・パスが必要となる場所はありません。  |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> 公共交通機関においてのマスク着用義務が撤廃されました。飛行機内とセキュリティーチェック以降の空港内においては、引き続きマスクの着用が義務付けられています。(13歳以上が対象。) 違反者には95ユーロの罰金が課されます。                          |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。弊社が予約代行を行っている検査機関は、結果が早い上に比較的臨機応変な対応が可能です。しかし、今後は検査機関の減少も予想されますのでご注意ください。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意する。                                      |

# NORWAY (ノルウェー)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

ウクライナの戦争に加えて、物価・電気代の高騰、全国的な教員ストライキなどの問題が連日大きくニュースで取り上げられており、コロナに関してのニュースはほぼ皆無状態となっています。  
秋になって芸術的なイベントが数多く開催されていますが、ムンク美術館は年内いっぱい毎週水曜日午後18時から無料入場（事前予約要）可能となっているため、沢山の見学者で賑わっています。

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <b>日本からの入国情報</b>              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>全ての規制が解除となっています。原則、日本パスポート保持者への入国制限はありません。入国前登録、陰性証明、入国後の検査や自主隔離も不要です。  |
| <b>DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況</b> | <b>[9月30日時点]</b> ワクチン接種後、オンラインにて取得可能。国内仕様とEU仕様の二種類ありますが、規制撤廃に伴い国内で使用することはありません。  |
| <b>マスク着用義務</b>                | <b>[9月30日時点]</b> 全ての規制が解除となっています。持病がある等の理由でマスクをしている人も稀に見られますが、大多数の市民はマスクなしで生活しています。  |
| <b>日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項</b> | <b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>オスロは週末も対応するラボや短時間で結果が出るプランなどが比較的揃っていますが、PCRの需要が減っていることから状況は流動的です。ご注意ください。※アメリカの入国時コロナ陰性証明提示が撤廃された為、クリニックでのコロナ検査営業状況変更や検査所減少が加速すると予想されます。 |
| <b>日本国籍の査証について</b>            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。   |



ムンク美術館

# PORTUGAL (ポルトガル)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

引き続き人気観光地での混雑が話題となっています。中には入場に数時間かかる場所もあり、このままでは今後混雑解消の為入場規制を導入する箇所が増えてくると思われます。インフレにより物価は高止まりが続いており、10月に政府は納税者に対して支援を行うことを発表しました。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>ポルトガル政府は、新型コロナウイルス感染症に係る水際措置を更新し、ポルトガル入国の際のワクチン接種証明書及び陰性証明書の提示義務を7月1日付で撤廃しました。  |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> SNS24 (国民健康保険サービス) のサイトよりオンラインで取得可能。現在、国内において提示義務のある場所はありません。   |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> 公共交通機関及び薬局等におけるマスクやフェイスシールドの着用義務は撤廃されました。医療機関・施設、高齢者・要介護者・障害者の支援施設及び当該者の自宅支援における着用義務は継続されています。  |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール/用紙による受け取り可<br>検査結果は一般のPCRで24~48時間以内の受け取りですが、日、祝祭日は殆どの検査機関が閉まっています。唯一受検可能な空港内検査場も予約不可で並びます。各検査機関、受付の時間帯、曜日や金額などが流動的のため、その都度再確認をする必要があります。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、ポルトガル本国のみ (アゾレス諸島[Azores Is.]、マデイラ諸島[Madeira Is.]を含む) に観光目的で90日以内の滞在はビザ不要。※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。                        |

# SPAIN (スペイン)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

最近になってようやく涼しい日が増えて来ました。大きな都市や観光地は、9月に入っても相変わらず国内外の旅行客でにぎわっています。引き続き公共交通機関でマスク着用義務がある以外は、コロナ禍はすっかり過去のものとなっており、メディア等で感染状況などコロナ関連の報道を目にすることはほぼありません。引き続きガソリン、エネルギーをはじめあらゆるものの物価が高騰しています。

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>日本からの入国情報</p>              | <p><b>[9月22日時点]</b> 9月20日をもって、スペイン・トラベル・ヘルスの運用を終了しました。これまでEU・シェンゲン領域外からの渡航者はスペイン保健省が運用するウェブサイト又はアプリから健康状態等を事前登録し、QRコードを取得することが必要でしたが、今後は不要となりました。なお、引き続き、ワクチン接種証明証・陰性証明書・回復証明書のいずれかを所持していることは必要です。</p>                                  |
| <p>DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況</p> | <p><b>[9月22日現在]</b> 入国時EU Digital Covid Certificateを使用。取得方法は居住する州によって異なります。入店時等のワクチン証明・陰性証明の提示義務はありません。</p>   |
| <p>マスク着用義務</p>                | <p><b>[9月22日時点]</b> 公共交通機関や医療機関等を除き、屋外・屋内ともにマスク着用の義務はありません（薬局入店時はマスク着用が義務ですので注意が必要です）。</p>  |
| <p>日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項</p> | <p><b>[9月22日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：検査場受け取り<br/>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br/>通常、検査結果判明まで24時間ほどかかります（2、3時間で結果の出るエクスプレス検査を除く。またすべての都市でエクスプレス検査が対応可能ではありません）。加えて記入事項の不備も散見されるため、修正の時間も考慮して、PCR検査受診、結果受領には余裕をもったスケジュールをしてください。</p> |
| <p>日本国籍の査証について</p>            | <p>日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br/>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意すること。</p>  |



マドリッド モンクレア地区にある空軍総司令部



# SWEDEN (スウェーデン)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

すっかり秋の気候となり、朝夕は少し肌寒く感じるようになってきました。コロナは昔のものとなり、通常通りの生活に戻っています。

以前は北欧内では比較的物価が安定している印象でしたが、今年に入り物価上昇率が突出、レストランなどの外食産業も原材料値高騰の為に大きな影響を受けています。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>スウェーデン入国に関する規制は全撤廃されています。ワクチン証明、コロナ陰性証明、入国前の登録や入国後の隔離などありません。   |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> ワクチン接種完了7日以内に国のワクチンデジタル登録されるので、その後ウェブ上でパーソナル番号等を入力して取得する。国内では規制解除の為、使用することはありません。   |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> 現在は規制解除となっています。   |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：不可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>市内ではプライベートクリニックにて日本帰国用の指定フォームでの対応可能な所はありますが、コロナ検査需要自体が減少している為、状況に関しては流動的です。現在は週末も営業、検査当日中に結果判明プランがあります。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意する。   |

# SWITZERLAND (スイス)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

夏休みが終わり、新学期も始まった関係で感染者の数が上昇中ですが、かんせんしゃすうはほとんど報道されません。どちらかとい冬のエネルギー供給不足の方が話題になっています。スイスには寒気がやってきて標高1500メートルでは雪が降り、峠の一部も一時的にクローズしました。秋のスイスに冬が突入しつつあるという感じです。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月29日時点] 完全開国</b><br>入国規制はありません。  |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月29日時点]</b> 不要です。  |
| マスク着用義務                | <b>[9月29日時点]</b> マスク着用義務はありません。(州によって、医療施設はまだマスク着用義務あり)   |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月29日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>●チューリッヒ空港で毎日可能で結果は3時間で出ます。日本指定の書式はメール送信でも結果判明後に空港でもらうことも可能です。テストはフライトの前日に受けることをお勧めしています。●ジュネーブ、ルツェルン、インターラーケンでも日本指定書式の手配が可能です(毎日受付、結果は24時間以内)。●ジュネーブではグループの場合、ホテルでの実施でリクエストベースとなります。●他都市(ルツェルン、インターラーケンなど)でも可能ですが、結果が出るまで一般的に48時間かかるので注意が必要です。●全国のホテルでのPCRテストも可能です。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、あらゆる180日間の期間内で90日以内の観光目的の滞在はビザ不要。<br>※滞在可能日数についてはシェンゲン協定加盟国への渡航を参照。他のシェンゲン協定加盟国を訪問する場合、訪問国の無査証滞在の条件にも注意する。リヒテンシュタインはスイスに準ずる。  |

# UNITED KINGDOM (イギリス)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

エリザベス女王が9月8日にご逝去されました。19日には国葬が行われ、イギリス全土が喪に服しました。葬儀前日ウエストミンスター宮殿周辺に行ってみました。女王への最後のお別れをするために沢山の人が並んでいました。10時間以上並んでいると思われます。ウエストミンスター宮殿の反対側には、19日の葬儀を見ようと何日も前からテントを張っている人たちがいました。宮殿前のスクエアには普段は目に見ることができないコモンウェルス・オブ・ネイションズ(イギリス連邦の加盟国)の国旗も掲げられていました。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日本からの入国情報              | <b>[9月30日時点] 完全開国</b><br>全ての水際措置が撤廃されています。乗客追跡フォーム、ワクチンを完全に接種していない方の出発前検査及び入国後検査も必要が無くなっています。   |
| DCC (ワクチンパス) 取得方法・運用状況 | <b>[9月30日時点]</b> ワクチン接種証明書 (NHS COVID Pass) の提示義務はなくなっています。COVIDパスポートに関する政府のガイダンスも終了し、施設側にパスの運用を推奨する事もなくなっています。   |
| マスク着用義務                | <b>[9月30日時点]</b> マスク着用は義務ではなくなっています。ただし閉鎖された場所や混雑した場所にいる時、知らない人と会う時には、フェイスカバリングの使用が推奨されています。  |
| 日本帰国用PCR検査に関する一般的な注意事項 | <b>[9月30日時点]</b> 手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可<br>需要減少によるラボの閉鎖によって、急遽変わる場合があります。<br>・検査受検後にお客様のメールアドレスに検査結果が通知される形態になっていますが、メールの容量を超えていて受信に影響が出ることも発生しており、渡英後でも確実に受信が可能なメールアドレスの登録が必要になります。<br>・各国の規制解除によりPCR検査の需要が減ってきており、今後検査機関の減少が予想されます。主要都市であっても、必ずしも便利なロケーションで受検出来るとは限らなくなってくる可能性があります。 |
| 日本国籍の査証について            | 日本国籍の場合、6カ月未満の滞在は原則査証不要。  |



国葬前日のウエストミンスター宮殿前広場